

温泉の利用状況について

泉 質： ナトリウム-硫酸塩温泉（低張性 中性 高温泉）

温泉成分の特徴： 神経痛、筋肉痛、運動麻痺、うちみ、くじき、消化器病病後回復、冷え性、動脈硬化症、胆石症に効果があります。
(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量： 43.5℃ ー 1リットル/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり（直近成分分析年月日：H27.4.3）

浴槽の種類とその状況： 大浴場(男女)、露天風呂(男女)(全て温泉水使用)

循環、かけ流しの状況： かけ流し式
(浴槽に常に新しい温泉を注入してあふれさせます。)

加水の状況： なし

加温の状況： なし

新湯との入れ替わり状況： 大浴場は約3時間、露天風呂は約2時間で入れ替わります。

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 毎日完全にお湯を抜いて、清掃を行っています。

浴槽水の消毒状況： なし

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌、過マンガン酸カリウム消費量、濁度、大腸菌群数の確認を行うため、年に2回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成27年 4月 3日

施設名 ホテル角萬

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会